

《電子情報技術科 アドミッションポリシー》

電子・情報技術者の仕事のやりがいは、今までできなかった技術課題を克服し、イメージしたものが出来上がった時の達成感と自分たちが製作に関わった電子機器が世の中の人々に広く使っていただける喜びです。電子情報技術科では、総合制作実習という科目の中で、毎年 Ene-1ChallengeSUZUKA やマイクロマウス大会、アイデアコンテスト等へ参加を通して、現在抱えているいろいろな課題や問題を克服しながら競争力のある製品作りに励んでいます。またこれら大会へチャレンジする中で、個人の課題解決能力やコミュニケーション能力の向上を図っていきます。多少勉強が苦手でも、

- ◆プログラムを作ることが好きな人、作ってみたいという意欲のある人
 - ◆電子工作が好きな人、電子回路に興味がある人
 - ◆ロボットなどの機器制御に興味のある人
 - ◆チームで活動することが好きな人、相手の立場で考えられる人
- 是非一緒にやりたいことを実現しましょう。

近年、企業が求める人材も多様化し、ソフトウェア、通信ネットワーク、電子回路など複数のスキルを持った技術者へのニーズが高まっています。例えば現在自動車には100個以上のマイクロコンピュータが搭載されており、機械だけではなく、それを動かす電子機器やプログラムが不可欠となっております。電子情報技術科では、ハードウェア・ソフトウェア・ネットワークの三つの柱の技術・知識を習得し、複数の高度な職業能力を身につける基礎を学ぶことで、グローバルな視点で、ローカルな地域に役立つ人づくりを目指しています。さらに、ARを活用した技能伝承といった視点や、AIを活用した画像処理といった分野への対応も進めています。

滋賀職業能力開発短期大学校には人をつくる場があります、将来何がやりたいかがわからなかった新入生も2年後には明確な目標を持つことで間違いなく変わるはずです。就職にあたっては、少人数制という特徴を活かし、まずは一人一人が自信を持てる専門科目やスキルを自らが見つけ出せるよう日々サポートし、それに合った企業へのきめ細かなジョブマッチングを行うことで、就職率 100%を目指して、地域産業・企業が求める人材を輩出し、地域発展に貢献しています。

Key Word 優れた技術者は、同時に優れた技能者である。